

## 目標達成計画

作成日： 令和4年4月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	・自施設独自のビジョンへの取組が課題	・地域のグループホームの代表に成り得る施設を目指す。	・ご利用者様のある参加型イベントを多く取り込み実施していく。また、具体的な実施計画書を作成する。	12ヶ月
2	6	・職員の指導育成の強化	・職員のスキルアップを図る。	・社内外の研修受講 ・身体拘束・虐待への取り組み 虐待の芽チェックリスト評価と実施フォロー(回/2ヶ月)	12ヶ月
3	34 35	・急変や事故発生時の備え	・各種のルール作りを行い健全な施設運用を行う。	・BCPマニュアルの作成・更新 (Business Continuity Plan) ・急変時の対応方法について(自施設編) ・災害への対応方法 ・常備物品の点検	3ヶ月
4	—	・感染症予防対策の強化	・各感染症予防対策を行い、安全・安心の環境づくりを行う。	・従業員の出勤・退社時の手洗い・検温等の実施(チェックリスト作成し日々確認する) ・感染症予防委員会の実施(回/2ヵ月) ・防護具の購入	3ヶ月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。